

No. 229

2024 Spring

JCP Ashiya City council report

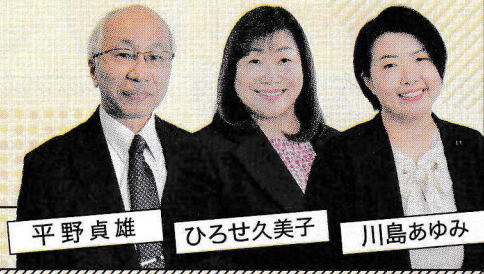
日本共産党

芦屋市議団

news

3月議会の
ご報告です

HP



2024年 春号 発行 ● 日本共産党芦屋市議会議員団
住所：〒659-8501 芦屋市精道町7番6号 電話：0797-38-2047(FAX兼) Eメール：a-jcp@helen.ocn.ne.jp

2024年度 芦屋市予算 教育・子育て支援の**独自施策**を評価！一般会計など9会計予算に賛成

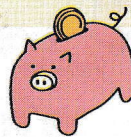
3 月議会では2024(令和6)年度予算案の審査が行われました。日本共産党は、子ども医療費助成の**拡充**(対象を18歳までに)や小中学校体育館への**空調施設整備**(2025年度までに全校整備予定)、「心のケア推進事業」など**教育・子育て支援の拡充**等を評価して、一般会計など9会計に賛成しました。

他にもこんな**独自施策**も

- **心のケア推進事業(新規)**…不登校防止のために心のケア等の支援を行う会計年度任用職員を配置
- **不登校児童生徒支援事業(拡充)**…不登校児童生徒支援のために高い専門性をもった主任指導員(臨床心理士等)を配置
- **いじめ未然防止対策事業(新規)**…全教職員対象の研修実施や教育相談コーディネーターの育成
- **大学等入学支援基金事業(拡充)**…所得基準額を緩和して対象者拡大

審査では、施政方針で平和行政への言及がなかったことや、敬老祝い金が廃止されること、ごみ処理を神戸市に依頼する検討を進めていることなどの問題点も指摘。また、国が進める行政デジタル化(DX)では、個人情報民間企業で利活用されることや、情報システムの「標準化」の下で芦屋市独自の施策の継続に制約が生まれかねないことに問題意識をもち、市民サービスを後退させない対応を強く求めました。(ひらの)

この会計には**問題あり!**(反対した会計)

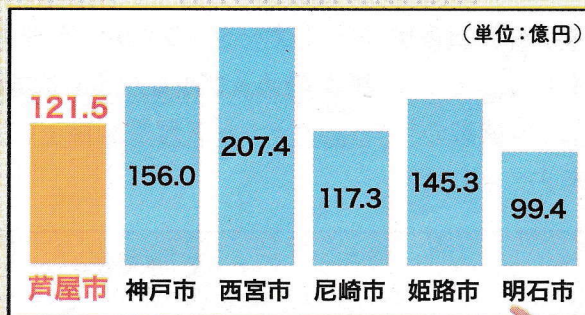


介護保険事業会計…「介護の社会化」の理念から外れた国の方針で、介護サービスの利用に不合理な制限が設けられていることや保険料・利用料負担の大きさが問題

後期高齢者医療事業会計…高齢者を別枠の保険にして差別的な医療となっている根本的問題点とともに保険料・利用料の負担が増大

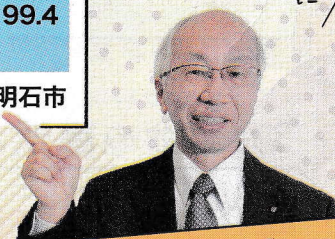
三条・津知財産区会計…神戸市との共有である六甲山頂を自衛隊通信基地用地として貸していることに安全面や景観面から問題あり

各市の財政基金状況(2022年度決算)



断市民一人当たりの額は、今市、中核市に敵する金額、

芦屋市は県内でも群を抜いて**財政基金(市の貯金)**が多い自治体です。市民の願い実現の財源は充分にあると言えます。



name: 平野貞雄
TEL / 0797(22)0248

JR芦屋駅南地区再開発

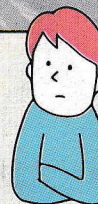
シミュレーション案は採用できず元の計画のまま着手へ

高 島市長肝入りの「芝生広場」を作るために、シミュレーションを実施しましたが、駅前東西道路を封鎖することで周辺道路が渋滞するという結果に。シミュレーションには550万円かかり、事業を遅らせたことで少なくとも1億円(当局答弁)の負担が発生します。また、工事を請け負う事業者も

未定のままです。すでに市議会多数派によって事業が2年遅れた中で、さらに高島市長が1年事業を遅らせたこと、既存の計画案のままで進めることについて、市民へ市長自身の言葉で発信していくことを求めました。(かわしま)



※駅前道路を廃止すると芦屋中央線がさらに渋滞する結果に。



報告会

Date / 4月22日(月)18時~19時30分
Place / 市民センター201室
3月議会のご報告です。お気軽におこしください。

相談会

Date / 4月25日(木)18時~20時
Place / 市民センター208室
濱本由弁護士が同席します。
できれば議員に電話でご予約を(当日受付は19時まで)

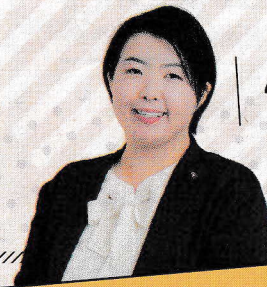
質問を代表して
会派を代表して
質問しました

高島市長の初施政方針に 総括質問!

施政方針とは?...

市政運営にあたり、本市の基本方針や主要政策について市長が述べたもの

全文はコチラ▶

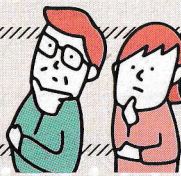


name: 川島あゆみ

TEL / 070(5037)9134

日本共産党が考える

施政方針のここがポイント!



「困難を抱えている市民」への向き合い方について

高島市長の施政方針は全体的に、**行政を頼らずに自分で物事を解決できる市民を評価しているように読み取れた**。しかし行政には、生活に困難を抱え、声を上げられない市民のことを支える「福祉」の視点が必要では?



市長答弁

対話をする中で「市民力」を感じたためそのように盛り込んだ。もちろん、困難な状況にある市民のことも支えていきたい。



教育改革について ~現場の負担は大丈夫?~

「PEACEプロジェクト(※)」としてスタートさせる教育改革は、教職員の長時間労働が問題視される昨今、**本当に現場の声を反映させたものなのか**が疑問。また、市長が教育に力を入れていることと、政治家としての教育への介入は紙一重と感じる。どのように線を引くのか?



教育委員会/市長答弁

専門家の意見も聞きながら教職員の業務改善の取り組みも進めて行く(教委)。法令に則って、教育委員会とは適切に線を引いていく(市長)。



※PEACEプロジェクトとは? 詳しくはコチラ▶



結婚の自由を全ての人に!!

~ジェンダー平等社会に一步前へ~

兵庫県が2024年4月1日より「パートナーシップ制度」を導入する。**同性カップルはもちろんのこと、事実婚カップルも対象となる画期的な制度**であるため、芦屋市の「パートナーシップ宣誓制度」でも、このように制度を拡充すべきでは?



市長答弁

「パートナーシップ宣誓制度」で連携している10市1町でも制度の見直しについての協議を進めて行く。



その他: 平和行政、防災、職員の働き方、JR芦屋駅南地区再開発事業(表面参照)について質問しました。

3月議会の議案から

TOPICS

介護保険料の引き上げで、暮らしはどうなる??

介護保険制度がスタートした2000年の月額基準額(第5段階の保険料)は2840円でしたが、今回の改定で6180円に。約2.2倍です。段階は現在の14段階から18段階に細分化され、低所得者には一定の措置がおこなわれるものの全体的に引き上げられます(表参照)。物価高騰など暮らしが大変な時の保険料引き上げで、これまで以上に暮らしを脅かすのは反対です。

1ヶ月の介護保険料はこう変わる

現行(~2023年)	改定(2024年~)
⑤ 5,740円	⑤ 6,180円
⑥ 6,310円	⑥ 6,790円
⑦ 7,170円	⑦ 7,720円
⋮	⋮
⑭ 12,910円	⑱ 17,920円



name: ひろせ久美子

TEL / 090(1951)0724

社会保険料の大幅引き上げは問題!

敬老祝い金がなくなる?!

88歳を迎えた市民には2万円、100歳では3万円の**祝い金**が支給されていましたが、**2024年度から廃止**されます(100歳の祝い品のみ継続)。芦屋市独自で高齢者が長生きしてよかったと思える施策を守るべきだと考えます。

行政によるマイナンバー利用拡大!

マイナンバーは、制度発足以来「社会保障」「税」「災害対策」の3分野に限定して使用され、個人情報の収集、保管は本人の同意があってもルール上禁止されてきました。しかしこれからは、**その限定使用のルールを外し、法で定めることなく行政分野において利用の拡大が可能**になります。プライバシー侵害の危険性がさらに高まることから反対しました。



編集後記

2023年度は日本共産党の「しんぶん赤旗」がスクープした「自民党の裏金問題」で国の政治が大きく揺れました。加えて「過激ダンスショー」報道では、若い世代の議員の信頼も揺らぎかねない事態に…国政では

引き続き追及が必要ですが、地方議会が市民にとって信頼され、身近に感じてもらうことが、政治の信頼回復への第一歩ではないかと思えます。(かわしま)